

高校生の保護者の皆様へ

あなたのお子さんは大丈夫？

～ネットトラブル防止のために保護者ができること～



## はじめに

これまでの携帯電話とは違った、高性能で多機能な使い勝手の良いスマートフォンが普及しています。電話・メール機能中心の携帯から、持ち歩けるパソコンである「スマホ」へ子どもたちのニーズは大きく変化しようとしています。子どもたちを様々な危険から守るためには保護者の皆様が高校生を取り巻くスマートフォンを代表とするネット社会の現状を理解し、どのような対策を講じるかを真剣に考える必要があります。

### スマートフォンの普及とトラブルの現状

県内では、中学生の約3割、高校生の約9割の生徒が携帯電話（スマートフォン）を所持しており、最近は多くの生徒がスマートフォンによるライン等のSNSを利用しています。LINEによるトラブルの多くは、社会性のない未熟な子どもたちが、自分勝手な判断で利便性だけを優先することによって発生しています。中には、いじめや不登校の原因になっていることも多数報告されています。

例えば、個人が特定できる写真をLINEで友人に送ったために取り返しのつかない事件に発展した事例や、現在位置が特定できるシステムを利用した声かけ事案が発生したりしています。本人には知られないと思って投稿した悪口が消去できずにいじめ問題に発展した例は頻繁に発生しています。LINEを使って文章や写真・動画を送ると自分の個人情報だけでなく、友人の個人情報も全世界に発信していることを子どもたちに意識させなくてはなりません。

### 保護者の意識が大切

スマートフォンを購入する前には必ず保護者と使用する本人との約束事をつくりましょう。対応の遅れが問題を大きくすることにつながります。ほとんどの学校が校内持ち込み禁止になっています。保護者との約束事や校則を守りその範囲内でスマートフォンを使用することがトラブルに巻き込まれないための最大の防衛策です。少なくともスマホ購入前に親子で以下のような約束事をつくりましょう。

1. 使用時間（電源を入れる時間・切る時間）
2. 使用金額（月額）
3. 学校には持っていかない。
4. インターネット機能制限（セキュリティの解除は勝手にしない）
5. 使用マナーを守る。（家族・公共に迷惑をかけないために）
6. その他（依存症にならないための約束など）

## セキュリティ対策

スマートフォンはパソコンと同じです。アプリケーションとよばれるソフトをインターネットで取り込んで、いろいろな機能を持たせる端末です。ですからセキュリティ対策を怠ると大きな問題が発生することになります。ウイルス対策ソフトを利用することはもちろんのこと、OS（基本ソフト）を定期的に更新し、ウイルス感染の危険性を最小限に抑えるとともに、自分のスマホの中にある個人情報が出ないようにするためにセキュリティロックの設定を忘れないようにしなければなりません。

また、次の3つのフィルタリングがスマートフォン利用時には欠かせません。

- ① 携帯電話会社が提供するフィルタリング
- ② 無線 LAN（Wi-Fi など）のフィルタリング
- ③ アプリケーションのフィルタリング

## スマートフォン使用の弊害を子どもに意識させる

スマホを使用することによる問題は、「携帯依存」・「金銭感覚のマヒ」・「個人情報の流出」・「友人とのトラブル」など、社会性が確立していない子どもたちに多く起こっています。スマホを使用することによって、どのようなリスクが生じるかを事前にしっかりと考えさせることがスマホを買い与える保護者の責任です。

流行の LINE のような無料通話アプリは、登録した仲間だけの内輪のやり取りができる便利なツールですが、一度問題が発生すると、削除することが難しいため証拠（記録）がいつまでも残り、大きな問題に発展し易いものです。

個人情報もこの仲間同士のやり取りから流出することが多く、便利なアプリほど危険なツールであるという認識を子どもたちに持たせる必要があります。

人と人とのコミュニケーションを大切にし、

心を大切にする若者を育てるために

保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

困ったら、小さなことでも気軽に相談しましょう。

●警察庁

「インターネット安全・安心相談」

<http://www.npa.go.jp/cybersafety/>

●県警察本部サイバー犯罪対策課 Tel 0985-31-0110

●県教育委員会

「ふれあいコール」

Tel 0985-38-7654

「県教育庁人権同和教育課 生徒指導・安全担当」

Tel 0985-26-7238

「ひなた子どもネット相談」

<http://hinatakodomo.miyazaki-c.ed.jp/>

QR コード



情報モラル関連サイト

●（財）コンピュータ教育開発センター

「ネット社会の歩き方」

<http://www.cec.or.jp/net-walk/>

●警察庁

「サイバー犯罪対策 情報セキュリティー対策ビデオ」

<http://www.npa.go.jp/cyber/video/index.html>

「キッズ・パトロール」（小学生向け）

<http://www.npa.go.jp/cyberpolice/kids/>

●独立行政法人 情報処理推進機構

「映像で知る情報セキュリティー対策」（中高生向け）

<http://www.ipa.go.jp/security/keihatsu/videos/20130329-3.html>

●スマホにひそむ危険

「疑似体験アプリ」

<http://www.daj.jp/cs/sp/app/>

## 保護者用チェック表

項目	番号	内 容	○	×	空欄
SNSについて	1	スマートフォンを利用していますか。			
	2	LINE、Facebook、mixi、Twitter、Mobage が何かを知っていますか。			
	3	LINE、Facebook、mixi、Twitter、Mobage などを利用していますか。			
	4	ネットの危険性、有害性を理解していますか。			
	5	ネットトラブルに関する事件が続発していることを知っていますか。			
	6	LINE は第三者の監視の目を入れることのできないシステムになっているので、いじめや犯罪の新しい温床になっていることを知っていますか。			
子どもの実態について	7	お子さんはスマートフォンや携帯電話を利用していますか。			
	8	お子さんの一日のスマートフォンや携帯電話の使用時間を知っていますか。			分
	9	お子さんの交友関係について知っていますか。			
	10	お子さんは面識のない人とメールなどをしたことがあると思いますか。			
	11	お子さんは、送られてきたメールにすぐに返事をしないことで、怒られたり、仲間外れにされるという不安に駆られていませんか。			
	12	お子さんはいじめの標的にされたり、または仲間を排除したり、仲間内で誹謗中傷の言葉のやり取りをしたりしていませんか。			
	13	お子さんは睡眠不足、ネット疲れによって、学習能力が低下してはいませんか。			
	14	お子さんは刺激的な映像や情報以外には興味を持たなくなっていますか。			
	15	お子さんは考え方の点でも行動の点でも自己中心的になり、他者を操ろうとする傾向が強くなってはいませんか。			
	16	お子さんは相手がどんなに傷ついても、自分は痛みを感じないようになってはいませんか。			
家庭での指導	17	家庭で相手を思いやる心の指導をされていますか。			
	18	ネットの危険性やスマートフォンの利用法について話し合ったことはありますか。			
	19	現実の人間同士の接触により、お子さんの相手の表情などから心を読み取るコミュニケーション力を育てようとしていますか。			
	20	お子さんの言語表現力やきめ細かな感性の発達のために何かに取り組まれていますか。			
学校との連携	21	学校が情報モラル指導に取り組んでいることを知っていますか。			
	22	全ての学校職員が情報モラル指導が行えるように、情報モラルに関わる研修を充実させていることを知っていますか。			
	23	学校と連携し、お子さんの実態把握に努めていますか。			
解決支援事業	24	ネット上のいじめなどの諸問題の早期発見、早期対応、未然防止のために専門機関を利用しますか。			
	25	県教育委員会の目安箱サイトについて知っていますか。			
	26	専門業者が実施するネットパトロールについて知っていますか。			
	27	ネットトラブルに関する研修の機会があれば参加されますか。			